

2023年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 —
 コード番号 — URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新城 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 崎山 博之 TEL (098)867-2112
 四半期報告書提出予定日 2022年11月25日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期中間期	6,323	△0.9	1,132	77.0	1,043	79.6
2022年3月期中間期	6,382	△6.7	639	△44.6	580	△17.6

(注) 包括利益 2023年3月期中間期 △711百万円 (△214.4%) 2022年3月期中間期 622百万円 (14.8%)

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期中間期	307	50	—	—
2022年3月期中間期	171	14	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期中間期	839,851		42,375		5.0	
2022年3月期	872,824		43,173		4.9	

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 42,342百万円 2022年3月期 43,138百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00			
2023年3月期（予想）			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	650	△36.2	630	△13.6	186	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期中間期	3,400,000株	2022年3月期中間期	3,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期中間期	7,910株	2022年3月期中間期	7,612株
③ 期中平均株式数（中間期）	2023年3月期中間期	3,392,141株	2022年3月期中間期	3,392,510株

(個別業績の概要)

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益		1株当たり中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2023年3月期中間期	6,314	△0.6	1,141	80.9	1,048	82.0	309	01
2022年3月期中間期	6,355	△6.9	630	△46.0	575	△19.1	169	72

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期中間期	839,838		42,176		5.0	
2022年3月期	872,707		42,947		4.9	

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 42,176百万円 2022年3月期 42,947百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	650	△35.2	630	△12.4	186	14

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
（1）中間連結貸借対照表	3
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
（3）中間連結株主資本等変動計算書	6
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	8
3. 中間財務諸表	9
（1）中間貸借対照表	9
（2）中間損益計算書	10
（3）中間株主資本等変動計算書	11

※2023年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における我が国の景気は、新型コロナウイルス感染防止と経済活動の両立が図られる中で、全体として持ち直しの動きが続きました。しかしながら、地政学的リスクなどを背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰、急激な為替変動等、企業や家計に対するインフレ圧力が強まっており、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

沖縄県内の景気についても、全体として緩やかに持ち直しの動きが見られております。観光関連産業では繁忙期において行動制限がなかったことで、入域観光客数は前年比増加に転じました。しかしながら、その一方で人手やレンタカー不足など受入体制の課題が顕在化しました。また、飲食・サービス業などについては仕入れ価格の高騰による収益の圧迫など、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当行は、これまで以上にお客さま支援に軸足を置いた活動を強化することを方針に掲げ、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」（計画期間：2022年4月～2025年3月）をスタートしました。これまで以上のスピード感を持ち、お客さまへ寄り添い良質な金融サービスの提供を行うことで、様々な課題解決に向けた取組みを実践してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券利息配当金は増加しましたが、貸出金利息収入が減少したことなどから、前年同期比59百万円減少の63億23百万円となりました。また、経常費用は、営業経費や与信関係費用が減少したことなどから、前年同期比5億52百万円減少の51億90百万円となりました。

結果、経常利益は、前年同期比4億93百万円増加の11億32百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比4億62百万円増加の10億43百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の連結財政状態について、総資産は前連結会計年度末比329億72百万円減少の8,398億51百万円、純資産は前連結会計年度末比7億97百万円減少の423億75百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、事業性および個人向け、地方公共団体向け貸出がともに減少したことなどから、前連結会計年度末比84億80百万円減少の5,448億24百万円となりました。

預金は、法人預金は減少しましたが、個人預金および公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比140億86百万円増加の7,568億8百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比76億98百万円増加の1,772億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結及び単体の業績予想は、2022年5月13日に公表した数値から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
現金預け金	133,635	101,208
コールローン及び買入手形	550	72
有価証券	169,559	177,257
貸出金	553,305	544,824
外国為替	39	405
その他資産	6,723	6,766
有形固定資産	8,725	8,469
無形固定資産	967	813
退職給付に係る資産	947	954
繰延税金資産	1	646
支払承諾見返	1,679	1,709
貸倒引当金	△3,312	△3,276
資産の部合計	872,824	839,851
負債の部		
預金	742,722	756,808
借入金	80,000	34,000
外国為替	5	5
その他負債	4,160	4,110
賞与引当金	333	333
退職給付に係る負債	301	295
役員退職慰労引当金	239	88
睡眠預金払戻損失引当金	13	5
利息返還損失引当金	6	6
偶発損失引当金	117	112
繰延税金負債	69	—
支払承諾	1,679	1,709
負債の部合計	829,650	797,475
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	33,739	34,698
自己株式	△27	△28
株主資本合計	41,469	42,426
その他有価証券評価差額金	1,555	△178
退職給付に係る調整累計額	113	93
その他の包括利益累計額合計	1,668	△84
非支配株主持分	34	33
純資産の部合計	43,173	42,375
負債及び純資産の部合計	872,824	839,851

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	6,382	6,323
資金運用収益	5,374	5,350
(うち貸出金利息)	4,884	4,756
(うち有価証券利息配当金)	418	495
役務取引等収益	680	641
その他業務収益	109	117
その他経常収益	217	212
経常費用	5,742	5,190
資金調達費用	54	25
(うち預金利息)	53	31
役務取引等費用	562	518
その他業務費用	2	3
営業経費	4,685	4,554
その他経常費用	438	87
経常利益	639	1,132
特別利益	280	285
固定資産処分益	2	18
退職給付制度改定益	277	—
移転補償金	—	266
特別損失	11	97
固定資産処分損	11	26
減損損失	0	71
税金等調整前中間純利益	908	1,320
法人税、住民税及び事業税	219	246
法人税等調整額	107	32
法人税等合計	326	278
中間純利益	581	1,041
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	580	1,043

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益	581	1,041
その他の包括利益	40	△1,753
その他有価証券評価差額金	126	△1,734
退職給付に係る調整額	△86	△19
中間包括利益	622	△711
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	620	△710
非支配株主に係る中間包括利益	1	△1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	33,179	△26	40,910
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			580		580
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	495	△0	495
当中間期末残高	4,537	3,219	33,675	△27	41,405

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,652	228	2,880	33	43,824
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					580
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	126	△86	40	1	41
当中間期変動額合計	126	△86	40	1	536
当中間期末残高	2,778	141	2,920	34	44,360

当中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	33,739	△27	41,469
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			1,043		1,043
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	958	△0	957
当中間期末残高	4,537	3,219	34,698	△28	42,426

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,555	113	1,668	34	43,173
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					1,043
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,734	△19	△1,753	△1	△1,754
当中間期変動額合計	△1,734	△19	△1,753	△1	△797
当中間期末残高	△178	93	△84	33	42,375

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより投資信託財産について市場価格の有無、重要な解約制限の有無及び基準価額を時価とみなす取扱いの可否等の判定を行い、時価を算定することといたしました。

なお、この変更による当中間連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当中間連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (重要な会計上の見積り)」に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当中間会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
現金預け金	133,635	101,207
コールローン	550	72
有価証券	169,644	177,342
貸出金	553,305	544,824
外国為替	39	405
その他資産	6,674	6,759
その他の資産	6,674	6,759
有形固定資産	8,725	8,469
無形固定資産	966	812
前払年金費用	798	828
繰延税金資産	—	682
支払承諾見返	1,679	1,709
貸倒引当金	△3,312	△3,276
資産の部合計	872,707	839,838
負債の部		
預金	742,871	756,987
借入金	80,000	34,000
外国為替	5	5
その他負債	4,169	4,119
未払法人税等	300	260
リース債務	211	187
資産除去債務	74	74
その他の負債	3,135	3,230
賞与引当金	331	330
退職給付引当金	313	302
役員退職慰労引当金	237	88
睡眠預金払戻損失引当金	13	5
偶発損失引当金	117	112
繰延税金負債	21	—
支払承諾	1,679	1,709
負債の部合計	829,759	797,661
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
資本準備金	3,219	3,219
利益剰余金	33,662	34,625
利益準備金	4,537	4,537
その他利益剰余金	29,124	30,087
別途積立金	27,895	28,395
事務機械化準備金	400	400
圧縮記帳積立金	22	22
繰越利益剰余金	806	1,270
自己株式	△27	△28
株主資本合計	41,391	42,354
その他有価証券評価差額金	1,555	△178
評価・換算差額等合計	1,555	△178
純資産の部合計	42,947	42,176
負債及び純資産の部合計	872,707	839,838

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	6,355	6,314
資金運用収益	5,374	5,350
(うち貸出金利息)	4,884	4,756
(うち有価証券利息配当金)	418	495
役務取引等収益	650	628
その他業務収益	109	117
その他経常収益	221	216
経常費用	5,724	5,172
資金調達費用	54	25
(うち預金利息)	53	31
役務取引等費用	561	518
その他業務費用	2	3
営業経費	4,682	4,549
その他経常費用	423	75
経常利益	630	1,141
特別利益	280	285
特別損失	11	97
税引前中間純利益	899	1,329
法人税、住民税及び事業税	216	245
法人税等調整額	107	35
法人税等合計	323	280
中間純利益	575	1,048

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,495	400	23	655	33,112
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					400			△400	—
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	—
中間純利益								575	575
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	400	—	△0	91	490
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,895	400	23	746	33,603

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計	
当期首残高	△26	40,843	2,652	2,652	43,495
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立		—			—
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
中間純利益		575			575
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			126	126	126
当中間期変動額合計	△0	490	126	126	616
当中間期末残高	△27	41,333	2,778	2,778	44,112

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,895	400	22	806	33,662
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					500			△500	—
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	—
中間純利益								1,048	1,048
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	500	—	△0	463	963
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	28,395	400	22	1,270	34,625

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△27	41,391	1,555	1,555	42,947
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立					—
圧縮記帳積立金の取崩					—
中間純利益		1,048			1,048
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）			△1,734	△1,734	△1,734
当中間期変動額合計	△0	962	△1,734	△1,734	△771
当中間期末残高	△28	42,354	△178	△178	42,176

株式会社 沖縄海邦銀行

2023年3月期 第2四半期(中間期) 決算ダイジェスト

Beyond the Bank
あなたの明日へ



2023年3月期 第2四半期（中間期）決算ダイジェスト

1. 決算の概要（連結・単体）	P	1
2. 損益状況（単体）	P	2
3. コア業務純益（単体）	P	3
4. 経費の推移	P	4
5. 貸出金の状況	P	5
6. 預金の状況	P	6
7. 預かり資産の状況	P	7
8. 不良債権（金融再生法開示基準）の状況	P	8
9. 自己資本比率の推移	P	9
10. 収支・損益項目の推移	P	10

2023年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

- 連結、単体ともに、減収・増益（経常収益・経常利益ベース）の決算内容となりました。

単位：百万円

	連結		単体	
		前年同期比		前年同期比
経常収益	6,323	△59	6,314	△41
経常費用	5,190	△552	5,172	△552
経常利益	1,132	493	1,141	511
中間純利益	1,043	462	1,048	473

連結の当期純利益は、親会社に帰属する当期純利益

2. 損益状況【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期	2022/9期	
			21/9期比
1 経常収益	6,355	6,314	Δ41
2 資金運用収益	5,374	5,350	Δ24
3 (うち貸出金利息)	4,884	4,756	Δ128
4 (うち有価証券利息配当金)	418	495	77
5 役務取引等収益	650	628	Δ22
6 その他業務収益	109	117	8
7 その他経常収益	221	216	Δ5
8 (貸倒引当金戻入益)	—	32	32
9 (償却債権取立益)	118	113	Δ5
10 (株式等売却益)	74	37	Δ37
11 経常費用	5,724	5,172	Δ552
12 資金調達費用	54	25	Δ29
13 役務取引等費用	561	518	Δ43
14 一般貸倒引当金繰入額	90	—	Δ90
15 営業経費（除く臨時処理分）	4,692	4,557	Δ135
16 人件費	2,330	2,294	Δ36
17 物件費	2,032	1,941	Δ91
18 税金	329	321	Δ8
19 その他経常費用	324	66	Δ258
20 個別貸倒引当金繰入額	213	—	Δ213
21 貸出金償却	17	21	4
22 債権売却損	—	29	29
23 経常利益	630	1,141	510
24 特別損益	268	187	Δ81
25 中間純利益	575	1,048	473

(ご参考)

26 資金利益	5,320	5,325	5
27 役務取引等利益	88	110	22
28 コア業務純益	735	912	177
29 債権等損益（5勘定戻）	88	79	Δ8
30 株式等損益（3勘定戻）	51	24	Δ27
31 与関係費用	273	Δ89	Δ363

■ 経常収益

経常収益は、有価証券利息配当金は増加しましたが、貸出金利息収入が減少したことなどから、前年同期比41百万円減少の63億14百万円となりました。

■ 経常費用

経常費用は、人件費、物件費に加えて、一般貸倒引当金、個別貸倒引当金が減少したことから、前年同期比△5億52百万円減少の51億72百万円となりました。

■ 経常利益

経常費用の減少額が、経常収益の減少額を上回ったことから、経常利益は前年同期比5億10百万円増加の11億41百万円となりました。

■ コア業務純益

本業による収益を表すコア業務純益は前年同期比1億77百万円増加の9億12百万円となりました。

3. コア業務純益【単体】

コア業務純益は、貸出金利息は減少しましたが、有価証券利息配当金の増加に加えて、営業経費が減少したことなどから、前年同期比1億77百万円増加の9億12百万円となりました。前年同期比増加率は24%となっております。

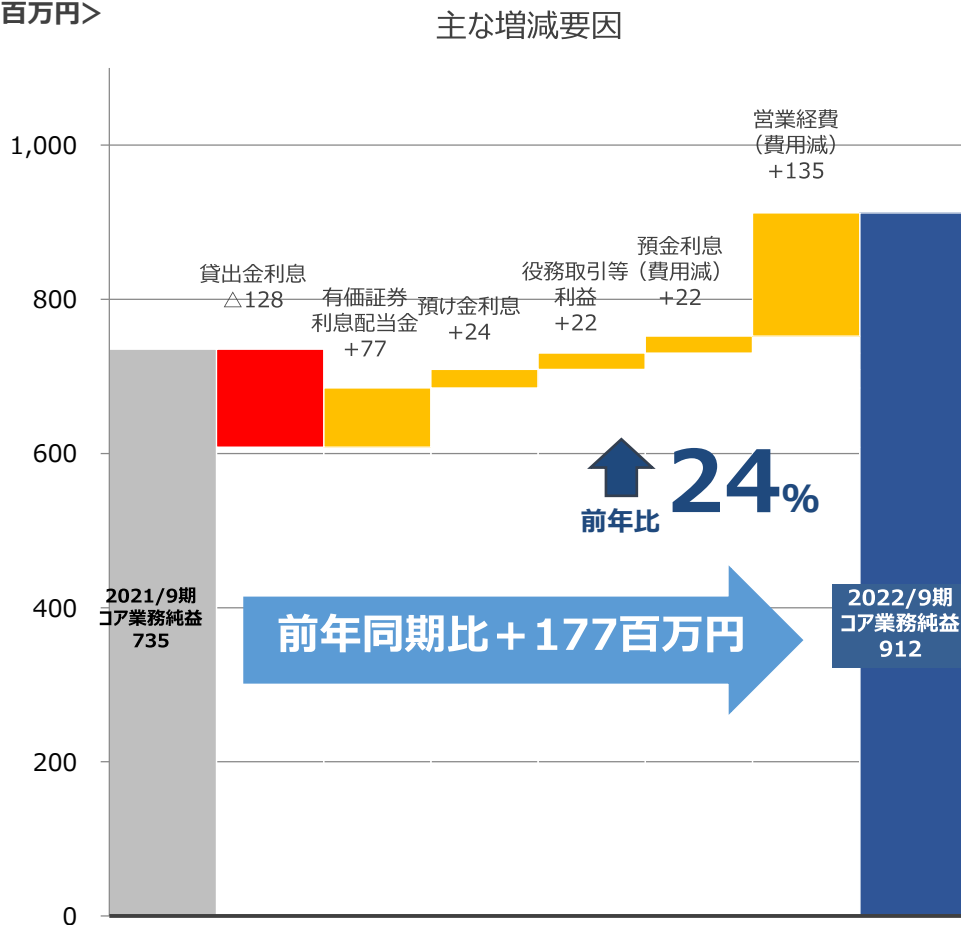
コア業務純益

銀行の本業による収支から、経費と一時的な変動要因である一般貸倒引当金繰入額および、国債等債券損益を除いたもので、銀行の実質的な収益性を表す指標とされる。

単位：百万円

単体		2022/9月期	
		2022/9月期	前年同期比
1	コア業務純益 (2 - 3 + 4 - 5)	912	177
2	経常利益	1,141	510
3	臨時損益	149	252
4	一般貸倒引当金繰入額	0	△90
5	国債等債券損益	79	△8

<百万円>

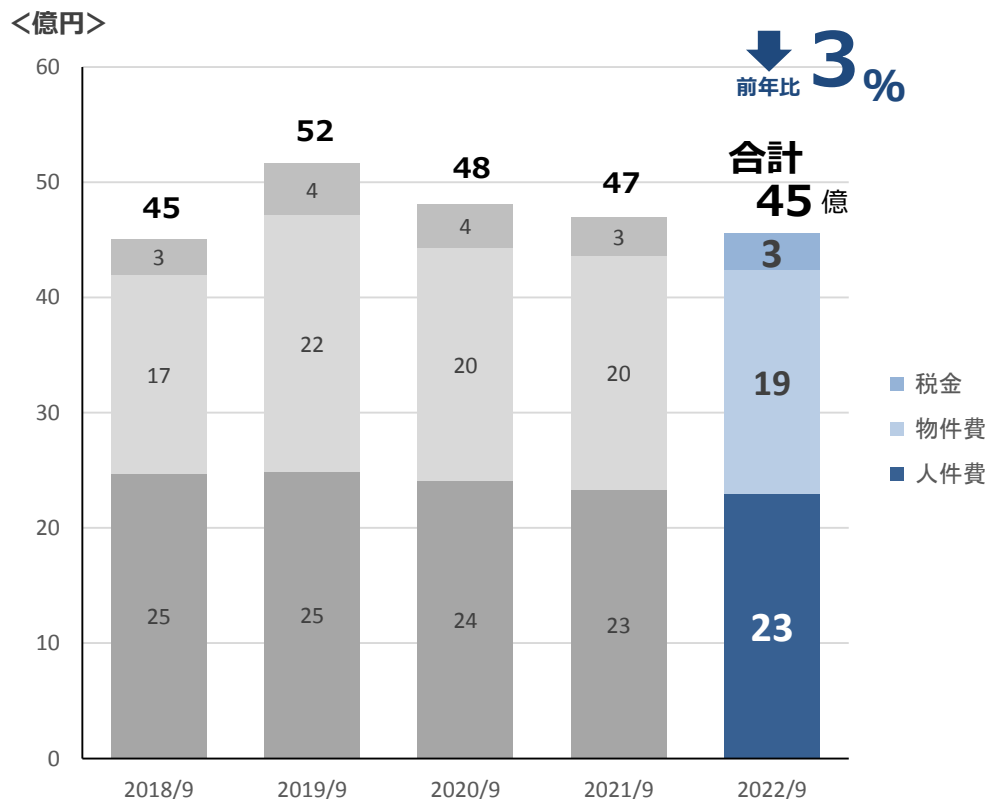


※その他業務利益等：+22百万円

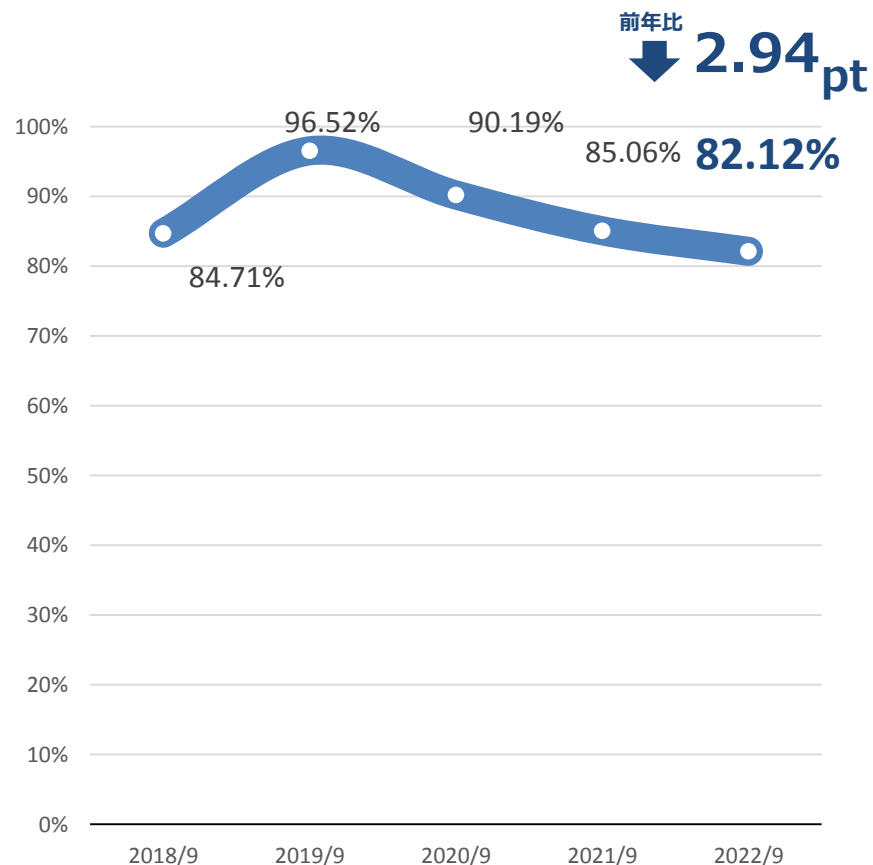
4. 経費の推移【単体】

営業経費は、物件費および人件費の減少などにより、前年同期比1億34百万円減少の45億57万円となりました。業務粗利益に対する営業経費の比率であるOHRは、前年同期比2.94ポイント改善の82.12%となりました。

営業経費（臨時費用除く）の推移



OHRの推移



5. 貸出金の状況【単体】

期末残高は、前年度に比べコロナ関連の緊急的な資金需要が落ち着いたことなどから、前年同期比75億39百万円減少の5,448億24百万円となりました。期末残高の減少率は1%となっております。

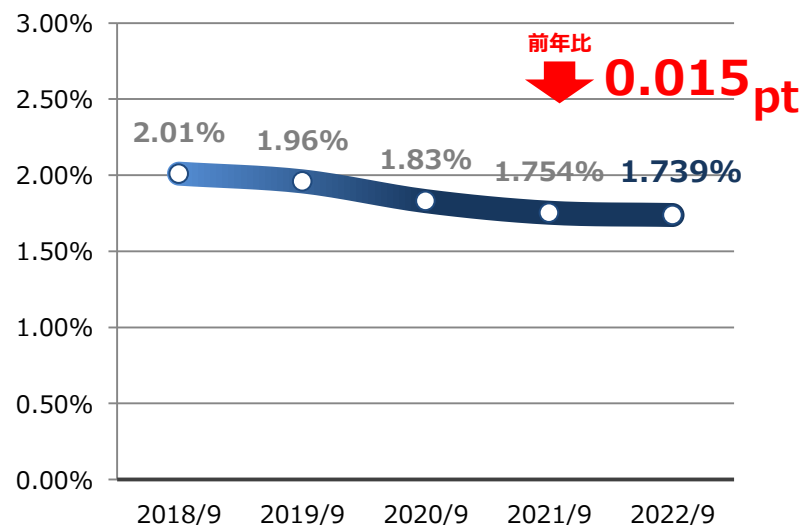
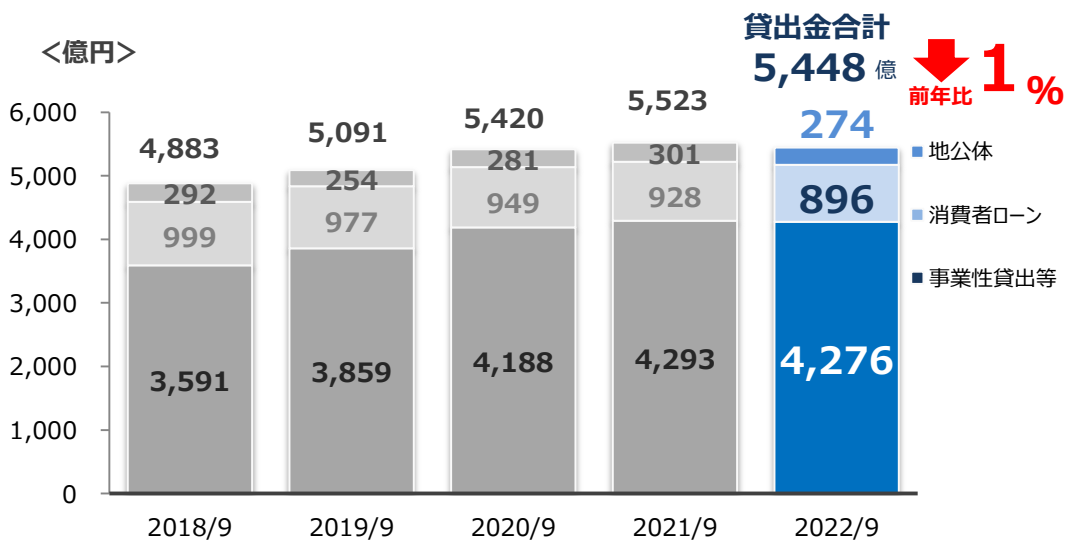
平均残高は、前年同期比97億30百万円減少の5,454億91百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末比	
				21/9期末比	22/3期末比
貸出金（期末残高）	552,363	553,305	544,824	△7,539	△8,481
事業性貸出等	429,333	429,849	427,691	△1,642	△2,158
消費者ローン	92,872	91,966	89,685	△3,187	△2,281
住宅ローン	69,356	67,807	65,981	△3,375	△1,826
地方公共団体	30,158	31,489	27,448	△2,710	△4,041
貸出金（平均残高）	555,221	553,005	545,491	△9,730	△7,514

貸出金（期末残高）の推移

貸出金利回りの推移



6. 預金の状況【単体】

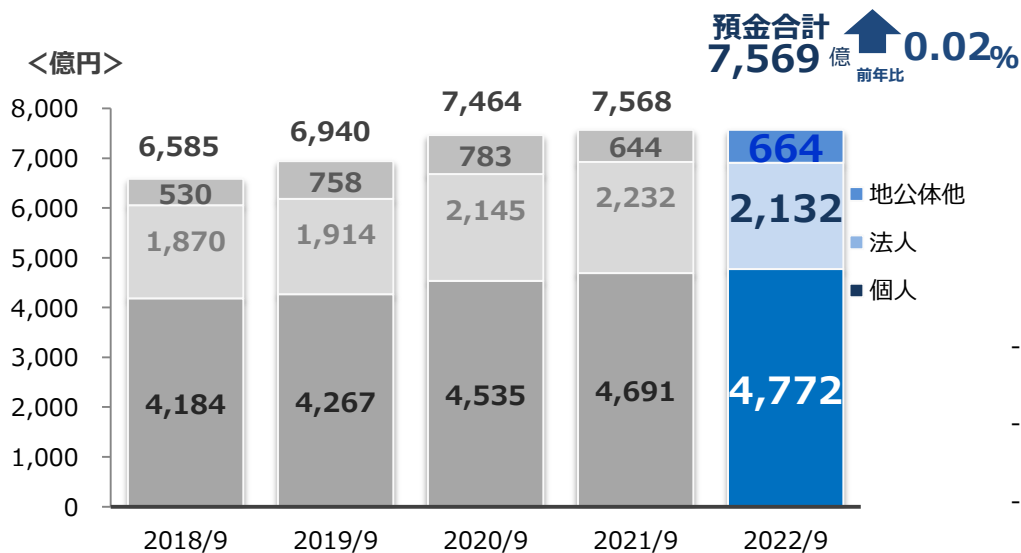
期末残高は、個人預金および地方公共団体その他預金は増加しましたが、法人預金の減少により、前年同期比1億21百万円増加の7,569億87百万円となりました。

平均残高は、前年同期比185億79百万円減少の7,571億11百万円となりました。

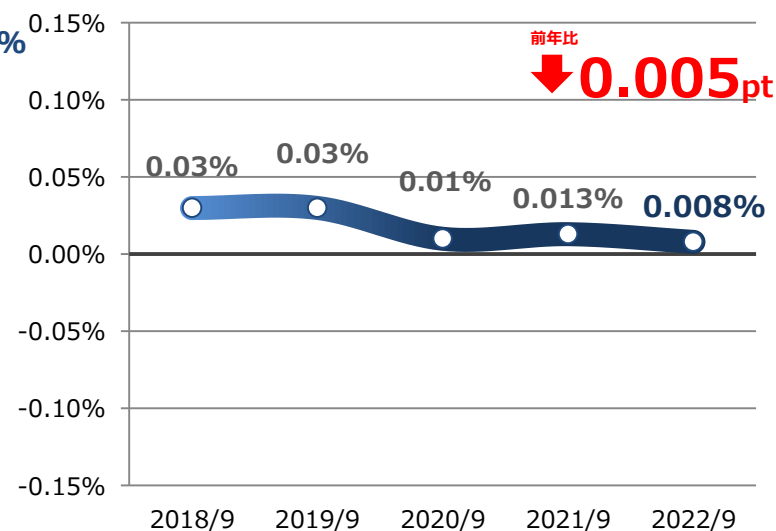
(単位：百万円)

単体	2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末比	
				21/9期末比	22/3期末比
預金 (期末残高)	756,866	742,871	756,987	121	14,116
個人	469,196	471,409	477,292	8,096	5,883
法人	223,223	226,307	213,256	△9,967	△13,051
地方公共団体その他	64,446	45,154	66,439	1,993	21,285
預金 (平均残高)	775,690	764,344	757,111	△18,579	△7,233

預金 (期末残高) の推移



預金利回りの推移



7. 預かり資産の状況【単体】

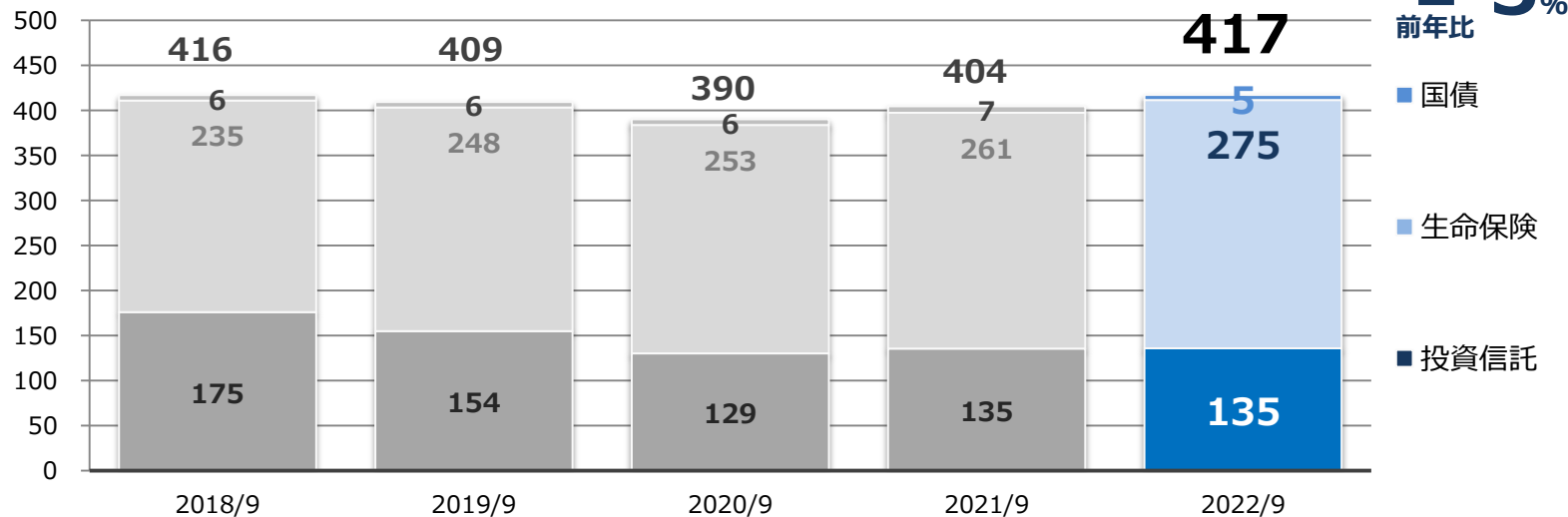
預かり資産は、生命保険の新規契約が増加したことで、期末残高は前年同期比12億79百万円増加の417億27百万円となりました。期末残高の増加率は3%となっております。

(単位：百万円)

単体	2021/9 期末	2022/ 3 期末	2022/ 9 期末	2022/9 期末比	
				21/9 期末比	22/3 期末比
預かり資産	40,448	42,581	41,727	1,279	△ 854
投資信託	13,530	14,936	13,563	33	△ 1,373
生命保険	26,195	27,023	27,582	1,387	559
国債	721	621	582	△ 139	△ 39

預かり資産（期末残高）の推移

<億円>



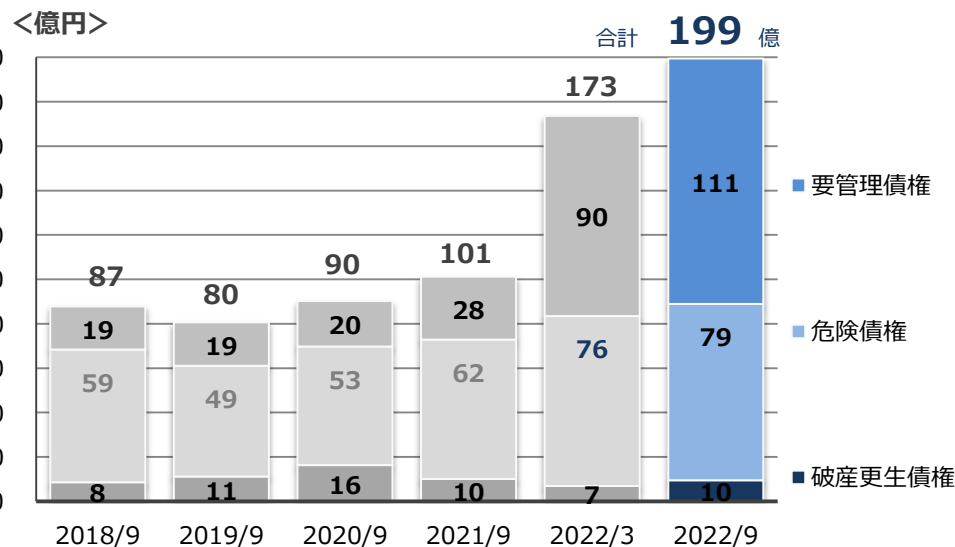
8. 不良債権（金融再生法開示基準）の状況【単体】

金融再生法開示債権は、要管理債権の増加などにより、前年同期比98億25百万円増加の199億43万円となりました。開示債権比率は前年同期比1.82ポイント上昇の3.64%となりました。

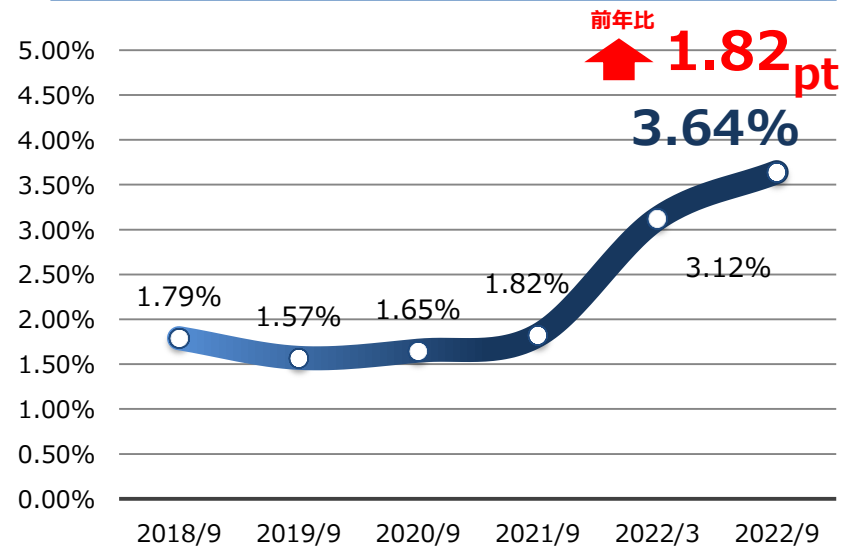
(単位：百万円、ポイント)

単体	2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末比	
				21/9期末比	22/3期末比
金融再生法開示債権	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
破産更生債権	1,007	692	950	△57	258
危険債権	6,278	7,653	7,936	1,658	283
要管理債権	2,833	9,017	11,056	8,223	2,039
正常債権	544,840	538,023	526,959	△17,881	△11,064
総与信額	554,958	555,387	546,903	△8,055	△8,484
開示債権比率	1.82%	3.12%	3.64%	1.82pt	0.52pt

金融再生開示残高の推移



金融再生開示比率の推移



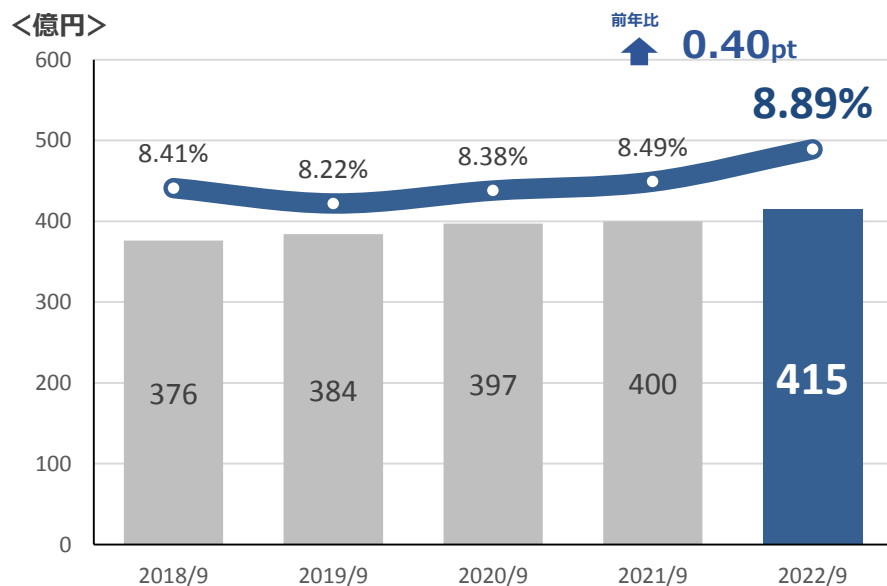
9. 自己資本比率の推移

自己資本比率は、利益の積み増しによる自己資本の増加と、貸出金の減少によるリスクアセットの低下により、単体で前年同期比0.40ポイント上昇の8.89%、連結で前年同期比0.40ポイント上昇の8.90%となりました。

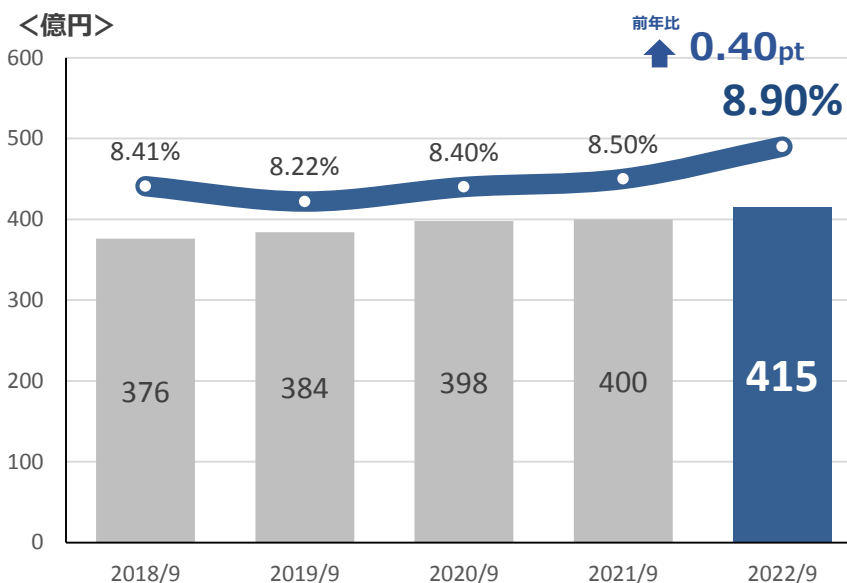
(単位：百万円、%)

単体		2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末		
					21/9 期末比	22/3 期末比
(1) 自己資本比率	(4) ÷ (5)	8.49	8.57	8.89	0.40	0.32
(2) コア資本に係る基礎項目		41,864	42,140	43,145	1,281	1,005
(3) コア資本に係る調整項目		1,842	1,764	1,640	△202	△124
(4) 自己資本	(2) - (3)	40,022	40,376	41,504	1,482	1,128
(5) リスクアセット		471,268	470,643	466,773	△4,495	△3,870

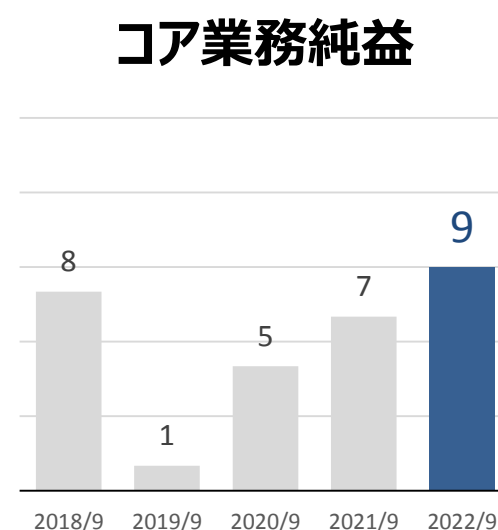
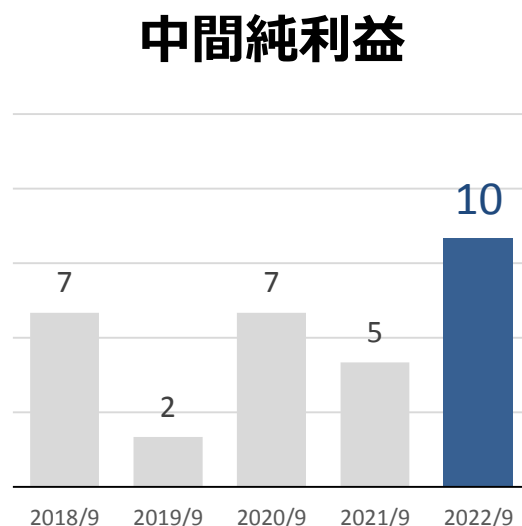
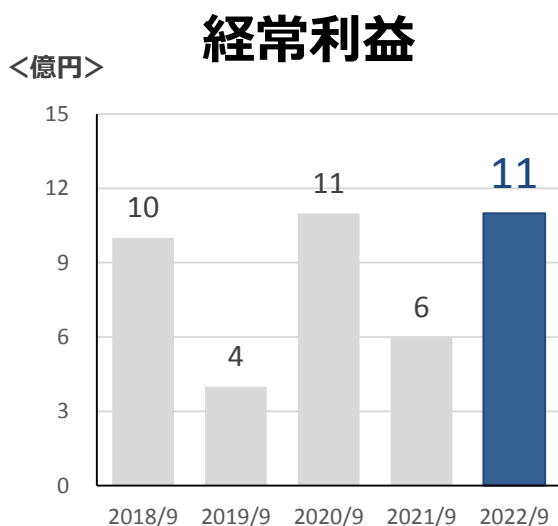
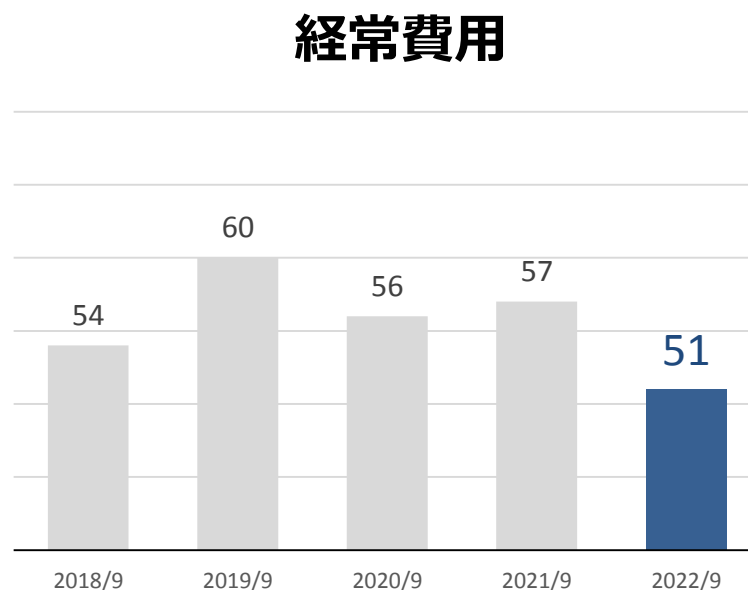
単体 自己資本額および自己資本比率の推移



連結 自己資本額および自己資本比率の推移



10. 参考：収支・損益項目の推移【単体】



Beyond the Bank

あなたの明日へ

2023年3月期 第2四半期（中間期）
決算説明資料

株式会社 沖縄海邦銀行

【目 次】

ページ

I 2023年3月期 第2四半期（中間期）決算の概況

1. 損益状況	単・連	……………	1・2
2. 業務純益	単	……………	2
3. 利鞘	単	……………	3
4. 有価証券関係損益	単	……………	3
5. 自己資本比率（国内基準）	単・連	……………	4
6. R O E	単	……………	4

II 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	……………	5
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	……………	6
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連	……………	6
4. 金融再生法開示債権の状況	単・連	……………	7
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	……………	7
6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分に対応した引当率・保全率の状況	単・連	……………	8・9
7. 自己査定による債権分類（率）の状況	単	……………	9
8. 業種別貸出状況等			
（1）業種別貸出金	単	……………	10
（2）業種別リスク管理債権	単	……………	11
（3）主な業種の不良債権残高	単	……………	12
（4）消費者ローン残高	単	……………	13
（5）中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	……………	13
（6）不動産向けノンリコースローンの残高	単	……………	13
9. 信用保証協会保証付き融資（期末残高）	単	……………	13
10. 預金、貸出金の残高	単	……………	13
11. 個人・法人預金（平残）	単	……………	13

【参考資料】

1. 業績等予想（単体）	単	……………	14
2. 役員、従業員数、店舗数	単	……………	14
3. 時価のある有価証券の評価差額	単	……………	14
4. 保有株式について	単	……………	15
5. 不良債権処理について	単・連	……………	15～17

I. 2023年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

1. 損益状況[単体]

(単位:百万円)

単体		2021/9期	2022/9期	21/9期比
1	経常収益	6,355	6,314	Δ41
2	業務粗利益	5,516	5,550	34
3	資金利益	5,320	5,325	5
4	役務取引等利益	88	110	21
5	その他業務利益	107	113	6
6	うち国債等債券損益(5勘定戻)	88	79	Δ8
7	経費(除く臨時処理分)	4,692	4,557	Δ134
8	人件費	2,330	2,294	Δ36
9	物件費	2,032	1,941	Δ90
10	税金	329	321	Δ7
11	実質業務純益(注)	824	992	168
12	コア業務純益(注)	735	912	177
13	除く投資信託解約損益	735	912	177
14	一般貸倒引当金繰入額 ①	90	—	Δ90
15	業務純益	733	992	258
16	臨時損益	Δ103	149	252
17	株式等損益(3勘定戻)	51	24	Δ27
18	不良債権処理損失 ②	302	61	Δ240
19	貸出金償却	17	21	3
20	個別貸倒引当金繰入額	213	—	Δ213
21	偶発損失引当金繰入額	3	—	Δ3
22	その他の債権売却損等	67	40	Δ27
23	貸倒引当金戻入益 ③	—	32	32
24	償却債権取立益 ④	118	113	Δ4
25	偶発損失引当金戻入益 ⑤	—	4	4
26	その他臨時損益	28	34	6
27	経常利益	630	1,141	510
28	特別損益	268	187	Δ81
29	固定資産処分損益	Δ8	Δ7	0
30	退職給付制度改定益	277	—	Δ277
31	移転補償金	—	266	266
32	減損損失	0	71	70
33	税引前中間純利益	899	1,329	429
34	法人税・住民税及び事業税	216	245	29
35	法人税等調整額	107	35	Δ72
36	法人税等合計	323	280	Δ42
37	中間純利益	575	1,048	472
(ご参考)				
38	与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	273	Δ89	Δ363

(注) 「実質業務純益」は一般貸倒引当金繰入額を除く業務純益。

「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益(5勘定戻)を除く業務純益。

I. 2023年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

損益状況【連結】

(単位:百万円)

連結		2021/9期	2022/9期	21/9期比
1	連結粗利益	5,546	5,562	16
2	資金利益	5,320	5,325	5
3	役務取引等利益	118	122	4
4	その他業務利益	107	113	6
5	営業経費	4,685	4,554	△131
6	貸倒償却引当費用	392	61	△331
7	貸出金償却	17	21	4
8	個別貸倒引当金繰入額	213	—	△213
9	一般貸倒引当金繰入額	90	—	△90
10	偶発損失引当金繰入額	3	—	△3
11	その他の債権売却損等	67	40	△27
12	貸倒引当金戻入益	—	32	32
13	償却債権取立益	118	113	△5
14	偶発損失引当金戻入益	—	4	4
15	株式等関係損益	51	24	△27
16	その他	1	11	10
17	経常利益	639	1,132	493
18	特別損益	268	187	△81
19	税金等調整前中間純利益	908	1,320	412
20	法人税・住民税及び事業税	219	246	27
21	法人税等調整額	107	32	△75
22	法人税等合計	326	278	△48
23	中間純利益	581	1,041	460
24	非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	1	△1	△2
25	親会社株主に帰属する中間純利益	580	1,043	463

(注) 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

(ご参考)

(単位:百万円)

26	連結業務純益	742	983	241
----	--------	-----	-----	-----

(注) 連結業務純益=単体業務純益+子会社経常利益-内部取引(配当等)

(連結対象会社数)

(単位:社)

27	連結子会社数	2	2	—
28	持分法適用会社数	—	—	—

2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

単体		2021/9期	2022/9期	21/9期比
29	業務純益(一般貸倒繰入前)	824	992	168
30	職員一人当たり(千円)	1,149	1,450	301
31	業務純益	733	992	258
32	職員一人当たり(千円)	1,023	1,450	427

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

I. 2023年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

3. 利鞘【単体】

(1) 総合

(単位：%)

単体	2021/9期	2022/9期	21/9期比
1 資金運用利回 (A)	1.26	1.22	Δ0.04
2 貸出金利回	1.75	1.73	Δ0.02
3 有価証券利回	0.54	0.56	0.02
4 資金調達原価 (B)	1.13	1.07	Δ0.06
5 預金等利回	0.01	0.00	Δ0.01
6 外部負債利回	Δ0.01	Δ0.02	Δ0.01
7 総資金利鞘 (A) - (B)	0.13	0.15	0.02

(2) 国内部門

(単位：%)

単体	2021/9期	2022/9期	21/9期比
8 資金運用利回 (A)	1.26	1.22	Δ0.04
9 貸出金利回	1.75	1.73	Δ0.02
10 有価証券利回	0.54	0.56	0.02
11 資金調達原価 (B)	1.10	1.04	Δ0.06
12 預金等利回	0.01	0.00	Δ0.01
13 外部負債利回	Δ0.01	Δ0.02	Δ0.01
14 総資金利鞘 (A) - (B)	0.16	0.18	0.02

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期	2022/9期	21/9期比
15 国債等債券損益(5勘定戻)	88	79	Δ9
16 売却益	90	83	Δ7
17 償還益	—	—	—
18 売却損	—	1	1
19 償還損	—	—	—
20 償却	2	2	0
21 株式等損益(3勘定戻)	51	24	Δ27
22 売却益	74	37	Δ37
23 売却損	—	11	11
24 償却	22	0	Δ22

I. 2023年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

5. 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円、%)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
(1)自己資本比率 (4)÷(5)	8.49	8.57	8.89	0.40	0.32
(2)コア資本に係る基礎項目	41,864	42,140	43,145	1,281	1,005
(3)コア資本に係る調整項目	1,842	1,764	1,640	△202	△124
(4)自己資本 (2)-(3)	40,022	40,376	41,504	1,482	1,128
(5)リスクアセット	471,268	470,643	466,773	△4,495	△3,870

自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円、%)

連結	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
(1)自己資本比率 (4)÷(5)	8.50	8.59	8.90	0.40	0.31
(2)コア資本に係る基礎項目	42,089	42,338	43,318	1,229	980
(3)コア資本に係る調整項目	2,016	1,915	1,767	△249	△148
(4)自己資本 (2)-(3)	40,072	40,423	41,550	1,478	1,127
(5)リスクアセット	471,172	470,562	466,713	△4,459	△3,849

6. ROE【単体】

(単位:%)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
業務純益ベース	3.34	3.58	4.65	1.31	1.07
当期純利益ベース	2.62	1.66	4.91	2.29	3.25

$$(算式) \quad ROE = \frac{\text{業務純益(当期純利益)}}{\text{純資産期中平残}}$$

(注) 分母の純資産勘定平均残高は、期首残高と期末残高の2分の1で算出しております。

II. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施 (前 ・ 後)

未収利息不計上基準 (自己査定基準)

【単体】

(単位：百万円)

単体		2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末比	
					21/9期末比	22/3期末比
リスク管理債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,007	692	950	△57	258
	危険債権	6,278	7,653	7,936	1,658	283
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	2,833	9,017	11,056	8,223	2,039
	合計	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
	正常債権	544,840	538,023	526,959	△17,881	△11,064
総与信残高		554,958	555,387	546,903	△8,055	△8,484

(単位：%、Pt)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.18	0.12	0.17	△0.01	0.05
	危険債権	1.13	1.37	1.45	0.32	0.08
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.51	1.62	2.02	1.51	0.40
	合計	1.82	3.12	3.64	1.82	0.52
	正常債権	98.17	96.87	96.35	△1.82	△0.52

【連結】

(単位：百万円)

連結		2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末比	
					21/9期末比	22/3期末比
リスク管理債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,007	692	950	△57	258
	危険債権	6,278	7,653	7,936	1,658	283
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	2,833	9,017	11,056	8,223	2,039
	合計	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
	正常債権	544,840	538,023	526,959	△17,881	△11,064
総与信残高		554,958	555,387	546,903	△8,055	△8,484

(単位：%、Pt)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.18	0.12	0.17	△0.01	0.05
	危険債権	1.13	1.37	1.45	0.32	0.08
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.51	1.62	2.02	1.51	0.40
	合計	1.82	3.12	3.64	1.82	0.52
	正常債権	98.17	96.87	96.35	△1.82	△0.52

II. 貸出金等の状況

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末	
				21/9 期末比	22/3 期末比
貸倒引当金	2,667	3,312	3,276	609	△36
一般貸倒引当金	616	834	875	259	41
個別貸倒引当金	2,051	2,478	2,400	349	△78

【連結】

(単位：百万円)

連結	2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末	
				21/9 期末比	22/3 期末比
貸倒引当金	2,667	3,312	3,276	609	△36
一般貸倒引当金	616	834	875	259	41
個別貸倒引当金	2,051	2,478	2,400	349	△78

3. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(単位：%、百万円、Pt)

単体		2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末	
					21/9 期末比	22/3 期末比
部分直接償却前	B/A	24.90	17.14	13.82	△11.08	△3.32
貸倒引当金	B	2,656	3,043	2,795	139	△248
リスク管理債権	A	10,664	17,757	20,211	9,547	2,454
部分直接償却後	D/C	20.85	15.26	12.67	△8.18	△2.59
貸倒引当金	D	2,109	2,649	2,527	418	△122
リスク管理債権	C	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580

【連結】

(単位：%、百万円、Pt)

連結		2021/9 期末	2022/3 期末	2022/9 期末	2022/9 期末	
					21/9 期末比	22/3 期末比
部分直接償却前	B/A	24.90	17.14	13.82	△11.08	△3.32
貸倒引当金	B	2,656	3,043	2,795	139	△248
リスク管理債権	A	10,664	17,757	20,211	9,547	2,454
部分直接償却後	D/C	20.85	15.26	12.67	△8.18	△2.59
貸倒引当金	D	2,109	2,649	2,527	418	△122
リスク管理債権	C	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580

(注) 上記「部分直接償却前」のリスク管理債権には、部分直接償却残高(当期実施額及び既存実施額)を加算しております。

II. 貸出金等の状況

4. 金融再生法開示債権の状況

部分直接償却実施 (前 ・ 後)

【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,007	692	950	△57	258
危険債権	6,278	7,653	7,936	1,658	283
要管理債権	2,833	9,017	11,056	8,223	2,039
合計 (A)	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
正常債権	544,840	538,023	526,959	△17,881	△11,064
総計	554,958	555,387	546,903	△8,055	△8,484
部分直接償却額	546	393	267	△279	△126

【連結】

(単位：百万円)

連結	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,007	692	950	△57	258
危険債権	6,278	7,653	7,936	1,658	283
要管理債権	2,833	9,017	11,056	8,223	2,039
合計 (A)	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
正常債権	544,840	538,023	526,959	△17,881	△11,064
総計	554,958	555,387	546,903	△8,055	△8,484
部分直接償却額	546	393	267	△279	△126

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
保全額 (C)	8,240	11,994	13,646	5,406	1,652
貸倒引当金	2,109	2,649	2,527	418	△122
担保保証等	6,130	9,345	11,119	4,989	1,774
(単位：%)					
保全率 (C)/(A)	81.43	69.08	68.42	△13.01	△0.66

【連結】

(単位：百万円)

連結	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
保全額 (C)	8,240	11,994	13,646	5,406	1,652
貸倒引当金	2,109	2,649	2,527	418	△122
担保保証等	6,130	9,345	11,119	4,989	1,774
(単位：%)					
保全率 (C)/(A)	81.43	69.08	68.42	△13.01	△0.66

II. 貸出金等の状況

6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分に対応した引当率・保全率の状況

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【単 体】

(単位：百万円、%)

単体	2022/9期末			
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
総与信額 (A)	950	7,936	11,056	19,943
担保等の保全額 (B)	879	4,821	5,418	11,119
未保全額(C) = [(A) - (B)]	71	3,115	5,637	8,824
引当額 (D)	71	2,286	169	2,527
引当率 (D)/(C)	100.00	73.38	3.00	28.64
保全率 [(B) + (D)]/(A)	100.00	89.55	50.54	68.42

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【単 体】

(単位：百万円、%)

単体	2022/9期末			合計
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	
総与信額 (A)	1	949	7,936	8,887
担保等の保全額 (B)	1	877	4,821	5,700
未保全額(C) = [(A) - (B)]	—	71	3,115	3,187
引当額 (D)	—	71	2,286	2,358
引当率 (D)/(C)	—	100.00	73.38	73.98
保全率 [(B) + (D)]/(A)	100.00	100.00	89.55	90.67

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【連 結】

(単位：百万円、%)

連結	2022/9期末			
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
総与信額 (A)	950	7,936	11,056	19,943
担保等の保全額 (B)	879	4,821	5,418	11,119
未保全額(C) = [(A) - (B)]	71	3,115	5,637	8,824
引当額 (D)	71	2,286	169	2,527
引当率 (D)/(C)	100.00	73.38	3.00	28.64
保全率 [(B) + (D)]/(A)	100.00	89.55	50.54	68.42

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連 結】

(単位：百万円、%)

連結	2022/9期末			合計
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	
総与信額 (A)	1	949	7,936	8,887
担保等の保全額 (B)	1	877	4,821	5,700
未保全額(C) = [(A) - (B)]	—	71	3,115	3,187
引当額 (D)	—	71	2,286	2,358
引当率 (D)/(C)	—	100.00	73.38	73.98
保全率 [(B) + (D)]/(A)	100.00	100.00	89.55	90.67

II. 貸出金等の状況

・金融再生法開示基準

自己査定 of 債務者区分		債権区分(金融再生法)	償却・引当の方針
破綻先債権		破産更生債権及びこれらに準ずる債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を償却・引当
実質破綻先債権			
破綻懸念先債権		危険債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を計上する方法と、対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積もり、当該額を担保・保証等で保全されていない債権額から控除した金額を予想損失額として計上する方法により引当
要注意先債権	(要管理先債権)	要管理債権	貸倒実績率に基づく3年間の予想損失額を引当
	(その他要注意先債権)	正常債権	貸倒実績率に基づく1年間の予想損失額を引当
正常先債権			

7. 自己査定による債権分類(率)の状況【単体】

(単位：百万円、%)

単体	2021/9期末		2022/3期末		2022/9期末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	554,958	100.00	555,387	100.00	546,903	100.00
非分類額	447,088	80.56	443,503	79.85	422,976	77.34
分類額合計	107,869	19.43	111,883	20.14	123,927	22.65
II分類	107,102	19.29	111,075	19.99	123,098	22.50
III分類	767	0.13	808	0.14	829	0.15
IV分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高…貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返分類額は個別貸倒引当及び直接(部分を含む)償却控除後の残高です。

非分類……………II、III、IV分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

II分類……………回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる資産。

III分類……………最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

IV分類……………回収不可能又は無価値と判定される資産。

II. 貸出金等の状況

8. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末比	
				21/9期末比	22/3期末比
1 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	552,363	553,305	544,824	Δ7,539	Δ8,481
2 製造業	17,187	17,760	17,788	601	28
3 農業、林業	2,024	2,160	2,144	120	Δ16
4 漁業	362	364	382	20	18
5 鉱業、碎石業、砂利採取業	265	286	289	24	3
6 建設業	39,185	39,415	39,297	112	Δ118
7 電気・ガス・熱供給・水道業	5,682	5,718	5,399	Δ283	Δ319
8 情報通信業	2,350	3,023	3,006	656	Δ17
9 運輸業、郵便業	11,264	11,059	10,854	Δ410	Δ205
10 卸売業	10,427	10,612	10,538	111	Δ74
11 小売業	31,365	31,583	31,930	565	347
12 金融業、保険業	11,778	11,121	10,647	Δ1,131	Δ474
13 不動産業	230,428	228,297	226,713	Δ3,715	Δ1,584
14 物品賃貸業	8,195	7,958	7,676	Δ519	Δ282
15 学術研究、専門・技術サービス業	5,606	5,442	5,370	Δ236	Δ72
16 宿泊業	12,487	13,014	14,101	1,614	1,087
17 飲食業	10,869	10,765	10,713	Δ156	Δ52
18 生活関連サービス業、娯楽業	11,748	11,602	11,087	Δ661	Δ515
19 教育、学習支援業	2,644	2,600	2,468	Δ176	Δ132
20 医療・福祉	24,475	24,118	23,208	Δ1,267	Δ910
21 その他のサービス	7,310	7,581	8,689	1,379	1,108
22 地方公共団体	30,158	31,489	27,448	Δ2,710	Δ4,041
23 その他	76,543	77,326	75,068	Δ1,475	Δ2,258

II. 貸出金等の状況

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末比	
				21/9期末比	22/3期末比
1 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	10,118	17,363	19,943	9,825	2,580
2 製造業	559	821	920	361	99
3 農業、林業	276	274	276	—	2
4 漁業	—	—	—	—	—
5 鉱業、砕石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
6 建設業	461	758	947	486	189
7 電気・ガス・熱供給・水道業	25	15	8	△17	△7
8 情報通信業	76	124	109	33	△15
9 運輸業、郵便業	451	187	383	△68	196
10 卸売業	158	147	126	△32	△21
11 小売業	1,012	1,698	1,774	762	76
12 金融業、保険業	4	4	3	△1	△1
13 不動産業	3,033	4,303	5,044	2,011	741
14 物品賃貸業	0	157	249	249	92
15 学術研究、専門・技術サービス業	52	94	140	88	46
16 宿泊業	986	4,641	4,875	3,889	234
17 飲食業	512	714	1,377	865	663
18 生活関連サービス業、娯楽業	710	786	812	102	26
19 教育、学習支援業	70	66	59	△11	△7
20 医療・福祉	933	1,495	1,546	613	51
21 その他のサービス	232	503	577	345	74
22 地方公共団体	—	—	—	—	—
23 その他	558	567	710	152	143

II. 貸出金等の状況

(3) 主な業種の不良債権残高【単体】

(単位：百万円)

単体		リスク管理債権ベース				
		総与信残高	三月以上延滞債権	貸出条件緩和債権	危険債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権
小売業	21/9期末	31,429	—	252	743	17
	22/3期末	31,647	—	914	771	13
	2022/9期末	31,994	—	906	804	62
宿泊業	21/9期末	12,494	—	30	894	61
	22/3期末	13,021	—	3,287	1,294	60
	2022/9期末	14,109	—	3,522	1,294	58
飲食業	21/9期末	10,876	—	309	31	218
	22/3期末	10,772	—	423	125	177
	2022/9期末	10,720	—	899	272	205
不動産業	21/9期末	230,569	—	660	1,925	447
	22/3期末	228,515	—	1,831	2,269	201
	2022/9期末	226,889	—	2,774	1,962	307
建設業	21/9期末	39,651	—	66	324	70
	22/3期末	40,133	—	189	539	29
	2022/9期末	40,016	—	275	659	13

(単位：百万円)

単体		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権
小売業	21/9期末	31,429	252	743	17
	22/3期末	31,647	914	771	13
	2022/9期末	31,994	906	804	62
宿泊業	21/9期末	12,494	30	894	61
	22/3期末	13,021	3,287	1,294	60
	2022/9期末	14,109	3,522	1,294	58
飲食業	21/9期末	10,876	309	31	218
	22/3期末	10,772	423	125	177
	2022/9期末	10,720	899	272	205
不動産業	21/9期末	230,569	660	1,925	447
	22/3期末	228,515	1,831	2,269	201
	2022/9期末	226,889	2,774	1,962	307
建設業	21/9期末	39,651	66	324	70
	22/3期末	40,133	189	539	29
	2022/9期末	40,016	275	659	13

II. 貸出金等の状況

(4) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
消費者ローン残高	92,872	91,966	89,685	△3,187	△2,281
うち住宅ローン残高	69,356	67,807	65,981	△3,375	△1,826
うちその他ローン残高	23,515	24,158	23,703	188	△455

(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位：百万円、%)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
中小企業等貸出残高	495,273	496,805	492,602	△2,671	△4,203
中小企業等貸出比率	89.66	89.78	90.41	0.75	0.63

(6) 不動産向けノンリコースローンの残高【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
不動産向けノンリコースローンの残高	1,132	1,101	1,071	△61	△30

9. 信用保証協会保証付き融資(期末残高)【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
信用保証協会保証付き融資	55,549	56,549	57,692	2,143	1,143
うち新型コロナ関連制度融資	31,692	31,728	31,079	△613	△649

10. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
預金(未残)	756,866	742,871	756,987	121	14,116
(平残)	775,690	764,344	757,111	△18,579	△7,233
貸出金(未残)	552,363	553,305	544,824	△7,539	△8,481
(平残)	555,221	553,005	545,491	△9,730	△7,514

11. 個人・法人預金(平残)【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末	2022/9期末	
				21/9期末比	22/3期末比
個人預金	464,619	468,689	475,434	10,815	6,745
流動性	313,974	320,914	337,359	23,385	16,445
定期性	150,645	147,775	138,074	△12,571	△9,701
法人預金	226,869	222,251	216,095	△10,774	△6,156
流動性	167,522	164,048	160,882	△6,640	△3,166
定期性	59,346	58,202	55,213	△4,133	△2,989

【参考資料】

1. 業績等予想【単体】

(1) 2023年3月期 業績予想について

(単位：百万円)

単体	2022/3期実績	2023/3期予想
経常利益	1,004	650
当期純利益	719	630
業務純益	1,551	1,210
業務純益（一般貸倒繰入前）	1,859	1,460
除く国債等関係損益	1,773	1,360
不良債権処理額	997	900

(2) 業務純益について

(単位：百万円)

単体	一般貸倒繰入前		一般貸倒繰入後
	一般貸倒繰入前	除く債券損益	
2021/3期	1,036	1,025	927
2022/3期	1,859	1,773	1,551
2021/9中間期	824	735	733
2023/3期予想	1,460	1,360	1,210
2022/9中間期	992	912	992

2. 役員、従業員数、店舗数【単体】

(単位：人、店舗)

単体	2021/9期末	2022/3期末	2022/9期末		
			21/9期末比	22/3期末比	
役員数	12	12	11	Δ1	Δ1
従業員数	730	707	690	Δ40	Δ17
店舗数	50	50	50	—	—

(注) 従業員は出向者含む有価証券報告書ベース

3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(単位：百万円)

単体	2021/9期末		2022/3期末		2022/9期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	157,858	3,929	167,571	2,185	175,183	Δ287
株式	3,170	1,022	3,586	1,069	3,281	795
債券	149,783	909	157,151	Δ772	165,591	Δ2,620
その他	4,904	1,997	6,833	1,888	6,311	1,538

(注) 1. 「評価差額」は、各中間期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券は保有していません。

【参考資料】

4. 保有株式について【単体】

(1) 保有株式

(単位：百万円)

単体	取得原価ベース	時価ベース
2021/9期末	3,880	4,903
2022/3期末	4,349	5,419
2022/9期末	4,418	5,213

(2) 減損処理について

(単位：百万円)

単体	株式等関係損益	うち減損処理額
2021/9期末	51	22
2022/3期末	25	24
2022/9期末	24	0

5. 不良債権処理について

(1) 処理損失

a. 単体ベース

(単位：百万円)

単体	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2021/3期	108	730	838
2022/3期	308	689	997
2021/9中間期	90	183	273
2023/3期予想	250	650	900
2022/9中間期	—	△89	△89

②不良債権処理額 = 不良債権処理損失 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益 - 偶発損失引当金戻入益

b. 連結ベース

(単位：百万円)

連結	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2021/3期	108	730	838
2022/3期	308	689	997
2021/9中間期	90	183	273
2023/3期予想	250	650	900
2022/9中間期	—	△89	△89

【参考資料】

(2) 残高について

(単位：百万円)

単体	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先 ③	計 ①+②+③
2021/9期末	1,007	6,278	7,285	131,738	139,024
2022/3期末	692	7,653	8,346	137,673	146,019
2022/9期末	950	7,936	8,887	151,590	160,477

(単位：百万円)

単体	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
2021/9期末	2,833	10,118
2022/3期末	9,017	17,363
2022/9期末	11,056	19,943

(3) 最終処理と新規発生

a. 残高について

(単位：百万円)

単体	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	合計
2021/9期末	1,007	6,278	7,285
2022/3期末	692	7,653	8,346
2022/9期末	950	7,936	8,887
22/3期→22/9期 新規増加	308	902	1,211
22/3期→22/9期 オフバランス化	△50	△619	△670
22/3期→22/9期 増減	258	282	541

(注) 上記「オフバランス化」には債権区分間の移動額が含まれております。

b. オフバランス化の内訳

(単位：百万円)

単体	2021/9期 実績	2022/3期 実績	2022/9期 実績
清算型処理	—	—	—
再建型処理	—	—	—
再建型処理に伴う業況改善	—	—	—
債権流動化	—	—	△7
R C C向け売却	—	—	—
直接償却	△1	△13	△1
その他	△363	△1,026	△661
回収・返済	△338	△861	△517
業況改善	△24	△164	△143
合計	△365	△1,040	△670

【参考資料】

(4) 2022年9月期に実施した金融支援について

(単位：百万円)

単体	金額	件数
債権放棄	—	—
私的整理ガイドラインに基づくもの	—	—
デット・エクイティ・スワップ	—	—
優先株の引き受けなど	—	—
合計	—	—

(5) 債務者区分ごとの引当額と引当率

(単位：百万円、%)

単体	2021/9期末		2022/3期末		2022/9期末	
	引当額	引当率	引当額	引当率	引当額	引当率
実質破綻・破綻先債権	132	100.00	69	100.00	71	100.00
破綻懸念先債権	1,875	70.95	2,365	74.52	2,286	73.38
要管理先債権	102	2.68	214	1.91	169	1.13
その他要注意先債権	205	0.16	279	0.22	419	0.31
正常先債権	308	0.08	340	0.09	287	0.08
責任共有制度対象債権引当金	131	0.68	117	0.59	112	0.53

(注) 責任共有制度対象債権に対する引当金は、正常先債権～要管理先債権に対する引当額とは別立てにて開示しております。

(6) ディスカウント・キャッシュフロー的手法による引き当て

(単位：百万円)

単体	適用先数	引当額	無担保部分
2021/9期 中間期	5	1,716	1,886
2022/3期	6	2,186	2,394
2022/9期 中間期	6	2,084	2,246

(7) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位：%)

単体	連結	20/9期末	21/3期末	21/9期末	22/3期末	22/9期末	23/3期末 (予想)
単体ベース		1.65	1.58	1.82	3.12	3.64	3%台
連結ベース		1.65	1.58	1.82	3.12	3.64	3%台